



くりを使った〇級グルメが誕生

県内1位の生産量を誇る大洲産のくりを使った新たな特産品開発を目指した「〇級ご当地グルメコンテスト2013」（大洲特産品開発事業実行委員会および市主催）の表彰式が11月9日(土)、リジェール大洲で開催されました。当日は、料理部門（プロの部・アマの部）、スイーツ部門（プロの部・アマの部）およびジュニアアイデア部門入賞者の表彰と、上位入賞作品の試食が行われました。最高賞・三ツ星賞の一部をご紹介します。

料理部門プロの部三ツ星賞



豚バラの角煮と栗を甘く炊いたものをご飯に乗せた丼です。そのまま食べても、ブラックペッパーを効かせたダシをかけて味わってもよし。ひつまぶしのような食べ方ができる楽しい料理です。

「とんくりまぶし」

スイーツ部門アマの部三ツ星賞



栗あんには細かく切った栗と潰した栗を入れ、ほどよく食感を残した状態で、半分くらいについたもち米で包んだ和菓子です。

「栗の粒あんおはぎ」

スイーツ部門プロの部三ツ星賞



黒ゴマで香ばしさを加えたフランスパンの生地、栗の甘露煮と大納言小豆を包み、焼き上げた優しい甘さのパンです。

「大洲の和栗ふらんす」

各部門の受賞者（敬称略）

【料理部門プロの部】

▽三ツ星賞 菊地 亮一（鹿野川荘）

▽二ツ星賞 長沼 晶子（大洲焔端 油屋）

▽審査員特別賞 善家 一光（鹿野川荘）

【料理部門アマの部】

▽三ツ星賞 三野の 愛理

▽二ツ星賞 井上 華歩

▽審査員特別賞 河野 利香

▽審査員特別賞 亀岡 亜美

▽審査員特別賞 西山 愛季

▽審査員特別賞 松中 望み

▽奨励賞 東 光子

【スイーツ部門プロの部】

▽三ツ星賞 中原 翼

▽（ベーカリーシヨップ穂の香）

▽二ツ星賞 松本 治子

▽（まんじゅう庵 はる）

▽審査員特別賞 次井 邦磨

▽（ジャポネーズ洋菓子店）

【スイーツ部門アマの部】

▽三ツ星賞 福田トミ子

▽二ツ星賞 三浦菜々美

▽審査員特別賞 田中 千景

▽学生奨励賞 村上 千紘

【ジュニアアイデア部門】

▽三ツ星賞 佐々木 優希

▽審査員特別賞 鳴滝 悠花

※販売店舗などの詳細は、大洲市公式ホームページをご覧ください。

秋の叙勲



瑞宝単光章

大田 正 男 さん
(菅田町大竹)
元大洲市消防団副団長



瑞宝単光章

内野 隆 史 さん
(菅田町菅田)
元日本郵政公社職員



今回表彰された井上恵子さん (大洲)

自主防災組織のぼり旗が寄贈されました

(南予地区郵便局長会)

大洲市の防災活動に役立ててもらおうと、南予地区郵便局長会(浦瀬孝之会長)が11月27日(水)、市役所を訪れ、防災用品を寄贈しました。

寄贈されたのは、市内33地区の自主防災組織名が記載されたのぼり旗で、1組織に2本、計66本が市長に手渡されました。

のぼり旗を受け取った清水市長は、「自主防災組織には、日頃から、独居老人の把握や声かけなど、継続した活動を続けていただきた

大田さんは、長年にわたり消防業務にご尽力されたご功績により、このたび、瑞宝単光章を受章されました。

内野さんは、長年にわたり郵政業務にご尽力されたご功績により、このたび、瑞宝単光章を受章されました。

い。郵便局は、地域コミュニティの核として、地域を支えてほしい」と述べるとともに、寄贈した浦瀬会長に感謝状を贈呈しました。

浦瀬会長は、「万が一の時、地域のみなさんには積極的に郵便局を活用してほしい。今後も、地域のために、安全安心な地域づくりを参画していきたい」と語りました。今回、寄贈されたのぼり旗は、各地区自主防災組織に配布され、訓練や実際の防災活動の場で、有効に活用されることとなります。



清水市長(左)にのぼり旗を寄贈する浦瀬会長(右)

社会教育功労者表彰

長年の社会教育振興への功労をたたえる社会教育功労者表彰が、文部科学大臣より、国立大洲青少年交流の家の元研修指導員である井上恵子さんに贈られました。

井上さんは、国立大洲青少年交流の家研修支援事業の研修プログラムの一つである華道で、中・高等学生への指導や作品展示による施設内環境整備など、青少年教育に貢献されてきました。

表彰を受けて井上さんは「同施設で、平成元年から平成23年まで華道の指導にあたりました。また、八多喜公民館でも華道を教え、これらが評価されたのだと、今回の受賞を家族一同喜んでます」と述べられました。今回の表彰は、全国114人の社会教育功労者へ贈られます。

第5回 大洲市駅伝大会

晴れ渡る青空の下、今年で5回目を迎える大洲市駅伝大会が11月24日(日)、長浜(大洲地域)で開催されました。当日は、長浜スポーツセンターで開会式が行われ、出席した清水市長や向井市議会議長が、選手たちにそれぞれ激励の言葉を送りました。

選手たちは長浜晴海ふれあいパークをスタートし、ゴールのある大洲市民会館に向けて勢いよく走り出しました。選手たちは観客からの声援に応えながら、一生懸命に自分たちのたすきをつないでいました。

今年79チーム総勢699人も選手が集い、どの区間でも激しい走力戦を繰り広げました。大会の結果は下記のとおりです。



【一般の部】

- ▽1部 1位 西条市陸協 2位 西予市体協A
- ▽2部 1位 平野PTA 2位 平公民館

【一般女子の部】

- 1位 野村体協 2位 内子走友会 女性

【高校生女子の部】

- 1位 大洲農業高等学校女子バレーボール部

【中学生の部】

- ▽男子 1位 長浜中学校A 2位 大洲南中学校A
- ▽女子 1位 新谷中学校A 2位 長浜中学校A

第72回国民体育大会大洲市準備委員会が設立されました

大洲市では、平成29年に愛媛県で開催される「第72回国民体育大会」に向けて、着々と準備を進めています。

10月31日(木)に設立発起人会を開催し、代表発起人の選出や、設立総会への提案事項などについて協議が行われました。それを受けて12月2日(月)には、設立総会ならびに第1回総会が開催されました。

設立総会では、発起人を代表して清水市長が、「平成29年の国体では、大洲市でカヌースプリント、ソフトテニス成年男女、ソフトボール成年男子の3競技が開催されることで内定している。準備に万全を期すために準備委員会を立ち上げることにした。みなさんの協力をお願いしたい」と述べました。また、来賓を代表して西田^{よういち}洋一県議会議員からは、「国体に向けてみなさんの英知を集結していただきたい。愛媛に来てよかったと言われる国体にしたいので、みなさんにも心からのお接待で協力してもらいたい」と話されました。

その後、準備委員会委員81人の委嘱が行われ、代表して尾崎^{てつひろ}哲弘愛媛県ソフトテニス連盟副理事長が委嘱状を受け取られました。

今後は、準備委員会において、大洲市ならではの魅力あふれる大会を目指したさまざまな検討や準備、取り組みが進められる予定です。



シリーズ・大洲市地域づくり表彰

平成24年度「大洲市地域づくり表彰」を受賞されたみなさん(3個人、11団体)を、シリーズでご紹介します。



地域づくりに貢献

大伍ひまわり会
会長 眞田 妙子^{たえこ}さん
(大 伍)

【眞田さんからのメッセージ】

大伍ひまわり会は、植松なでしこ会、坂本すみれ会と同様に、平成16年に婦人会が解散した後、地元の女性団体を残すために結成しました。

結成当時から14人のメンバーで、地域のイベントや分館・自治会活動への参加、中学校行事への協力などを積極的に行っています。

メンバーの高齢化と後継者不足に悩んでいますが、これからも、地域のためにできることを、少しでも長く続けていきたいと思っています。



社会福祉・高齢者支援に貢献

徳森婦人会
会長 松田トモ子^{ともこ}さん
(平)

【松田さんからのメッセージ】

徳森婦人会では、40人の会員が老人福祉施設や福祉施設を訪問し、入所者との交流を図ったり、地元小学校で読み聞かせやもちつき大会の手伝いなどを楽しくしています。また、毎年5月21日には、永徳寺を参拝される皆様への「お接待」を実施しています。

最近では、入会者が少なく会員が減少気味ですが、「できる人ができることを」をモットーに、女性のパワーを地域に提供していきたいと思っています。

これからは、地域の子どもたちとの関わりも増やしていきたいと思っています。



環境美化に貢献

平井 宏^{ひろし}さん
(肱 南)

【平井さんからのメッセージ】

私の環境美化への取り組みは、自宅の改装工事中に、周辺に散らかった木くずなどの清掃を始めたことがきっかけでした。清掃していると、あちらこちらにゴミが落ちていることに気づき、それらを清掃していると徐々に清掃範囲が広がりました。現在では、本町一丁目商店街や肱川橋から市役所周辺までの国道など、約500mを清掃しています。

これからも、体力の続く限り活動を続け、きれいなまちで観光客のみなさんをお迎えしたいと思います。



地域づくりに貢献

平野ふるさとを愛する会
会長 石山 隆資^{たかし}さん
(平 野)

【石山さんからのメッセージ】

平野ふるさとを愛する会では、次世代を担う子供たちの架け橋となり地元を住みやすく魅力ある町にできるよう、35人の会員で活動を行っています。

公民館事業への協力や駅前の清掃の手伝いをはじめ、地域のシンボリックなものになればと思い、高森山の山頂付近から地域が一望できるような場所にするために、雑木林を伐採してツツジの植栽をしています。

これからも、事故に遭わないようにし、高森山頂の整備などを進めていきたいと思っています。



がんばる大洲企業



弊社は昭和24年に創業し、主に下駄の製造・出荷を行っています。全国をはじめ四国内でも、下駄を製造する会社はごく少数で、長浜町内では弊社のみとなっております。現在は、5人の従業員とともに原木の搬入から着手し、製造した商品を京都や名古屋、東京など全国各地へ出荷しています。

下駄ができるまでには、「大割」「横切」「研磨」「選別」など多くの工程があり、1か月から2か月程度の時間を要します。その中でも「選別」は、本当に良いものを提供するための最終チェックを行う

有限会社 長浜木履工場

「履くことで伝える和の文化」

う作業となるので、特に重要な工程といえます。

近年、値段の安い外国製の下駄が普及し、また、日本人の中でも和の文化への意識が薄れるなど、弊社を取り巻く環境は厳しくなっています。その中で、下駄という和の文化を次世代に継承していくことは、弊社が担うべき使命だと思っています。その一つとして、幼い頃から下駄に履き慣れてもらう「下駄保育」にも、積極的に支援を行っています。変化の激しい世の中であっても、下駄の良いところ、ものづくりの素晴らしさは、この先も残していかなければならない大切な財産です。

弊社の下駄を履いていただければ、数多くある下駄の中でも、他とは違う商品へのこだわり、履きやすさを感じてもらえるはずですよ。今後、お客様の履きやすさを第一に考えながら、良質な下駄を製造することで、和の文化の継承にも努めていきたいと思えます。

▽所在地 長浜町黒田甲617
▽電話 ⑤1234

文化財

ぶじきち
無事喜地のタブノキ
大洲市指定天然記念物
個人所有



長浜町今坊地区の無事喜地にある本樹は、樹高約15m、根回り9.6m、目通り7.2mになる大木で、樹齢は約300年と推定されています。

秋には黒紫色の実を付けること、また、長い果柄（枝から伸びて実を支える柄）が赤色を帯びていることから、赤い花が咲いたように見えます。

本樹は、東西24m、南北27.7mと四方に枝が大きく広がり、バランスのとれた傘状の樹冠が特徴的で、その形状は実に美しく一見の価値がある樹木と言えます。

(昭和46年3月30日指定)

野鳥

コウノトリ（鶴）
コウノトリ目 コウノトリ科
全長 115cm 翼開長 195cm



高度経済成長による環境悪化により、国内で繁殖していたものは1971年に絶滅し、主たる生息地の東アジアでも、推定2000～3000羽くらいといわれています。国際的にも希少種で国の特別記念物にも指定される中、兵庫県でロシア産や中国産、また動物園で飼われていた個体などでの人工繁殖に成功し、現在自然復帰に向けた活動が行われています。そのかいもあり、毎年宇和盆地には数羽が訪れ、市内の肱川にも時折降り立っています。

その珍しさと人々に発見されやすいことから、近寄りすぎて追い払っている現状ですが、対応次第で長期滞在中も夢ではありません。今後、コウノトリがたくさん赤ちゃんを運んでくれるような、未来ある地域であってほしいと願います。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト④

育児のお悩み相談所



子育ては楽しい反面、想像以上に大変なことです。悩みのある場合、一人で悩まずに、周りの人や関係機関へ気軽に相談しましょう。

お悩み①

生後2か月児の母親です。子どもがよく泣くので、たびたび抱っこしています。「抱きぐせ」がつくので控えた方がいいのでしょうか。

―抱っこできる今を大切に―

抱きぐせは、昔のように否定的ではありません。むしろ、最近では抱いた方が、赤ちゃんの心身の発達にも良いと言われています。愛情はきつとお子さんに伝わります。たくさん抱っこしてあげてください。

お悩み②

生後9か月児の母親です。最近、遊び食べをし始め困っています。どうすればいいのでしょうか。



―遊び食べは発達の一過程―

遊び食べの時期は、ちょうど「はいはい」や「つかまり立ち」ができるようになり、赤ちゃんの知能や運動能力が飛躍的に発達してくる時期です。あらゆるものに興味を持ち始め、食事どころではないという気持ちなのかもしれません。

あまり気にし過ぎず、楽しい雰囲気の中で食べ、食事は長くても30分くらいで終わるようにしましょう。

【問い合わせ先】

大洲市保健センター

☎0310

大洲市消費生活センター通信

【忘れたところにやって来る?】

リフォームトラブルにご用心!

あなたのお宅にも、こんな訪問ありませんでしたか。

▽近所で工事をするので、ご迷惑をかけるかもしれませんが構いませんか。

▽お宅も無料で見てあげますよ。

▽(公的機関を装って)市役所の方から来ました。

リフォームトラブルでは、昼間家にいる主婦や高齢者を狙って訪問し、本当に必要なかどうか考える暇も与えずに契約を勧めます。

【工事内容の例】

- ▽床下換気扇、白アリ駆除
- ▽屋根の瓦、雨漏り
- ▽排水管・浄化槽の清掃など

【契約する前に】

まずは、家族に相談しましょう。このままでは危険だと言われたとしても、一日二日で壊れるわけはありません。考える時間を与えないような業者は危険です。

そして、実際に工事依頼する場合には、複数業者から見積もりをとり、比較検討しましょう。

見積書、契約書は必ずもらい、内容をよく確認しましょう。不明な点については、説明を求めましょう。焦って契約していいことなど一つありません。一つ一つの契約にゆとりと責任を持ち、安心できる業者を選びましょう。

困りごとがありましたら、消費生活センターまでご相談ください。

【問い合わせ先】

大洲市消費生活センター

☎241790

【相談受付時間】

午前9時～正午
午後1時～5時
※月曜日～金曜日(祝日除く。)

契約内容などは

細かい所まで
チェック!





ふれあいと体験を通して ～福祉と健康づくり 市民のつどい～

福祉と健康のまちづくりの一環として、市民のつどいが総合福祉センターなどで開催されました。

当日は市内から多数の団体が参加し、センター内・駐車場で展示や即売、各種相談などを行い、市民同士で交流を図っていました。

午後からは、「全国旅をしてであった人たち～食と健康～」と題した記念講演が開催され、講師に招かれた俳優の阿藤快さんは、会場を終始笑いの渦に巻き込んでいました。



地元みんなでおもてなし ～第27回豊茂ふるさとまつり～

豊茂地区最大のイベントである豊茂ふるさとまつりが、旧豊茂小学校校舎と体育館を利用して行われました。

地元住民のみなさんは、マジックショーや餅つき、郷土芸能のお披露目など、数多くの催し物で訪れた人たちをもてなしました。

この日はあいにくの雨に見舞われましたが、最後の餅まきでは、体育館にたくさんの人が集まり、熱い争奪戦を繰り広げていました。



笑顔あふれる一日に ～第29回肱川ふれあいまつり～

第29回肱川ふれあいまつりが、肱川風の博物館・歌麿館横の風のり広場で開催されました。

会場内には、地元グループの出店が立ち並んだほか、長年交流が続いている北海道えりも町の物産販売も行われ、昆布や毛ガニ、鮭などを買求める人でにぎわいました。また、えりも漁師鍋「鮭鍋」には長蛇の列ができ、来場者は北のグルメに舌鼓を打っていました。

この日は、曇り空で寒い日となりましたが、市内外から多くの人が来場しました。

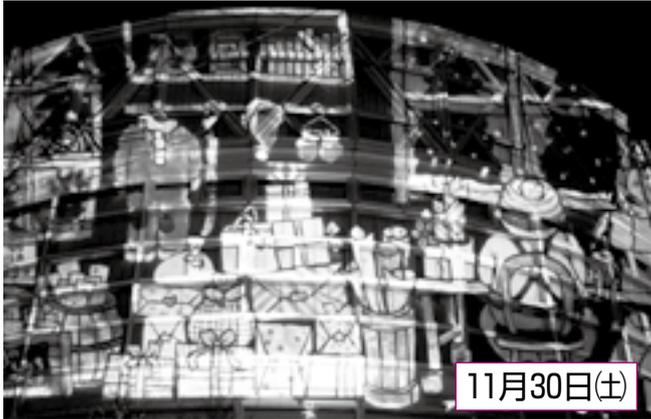


地域の安全を守るために ～秋季訓練および防火パレード～

河辺地域における消防団の秋季訓練が、河辺中学校屋内運動場で行われました。

号令の練習では、「回れ右」などの声が響く中、緊張感のある訓練が行われました。また、その後行われた小隊訓練では、行進や停止、方向転換の動作を繰り返し練習しました。

午後には、消防車4台と広報車1台で河辺一帯を巡回し、「火災を出さないように」と広報活動を行いました。



11月30日(土)

温かな光の芸術

～光の切り絵 野外幻灯展・一画二驚展
-愛・彩・食- in 長浜～

長浜町商工会女性部などの主催で、「光の切り絵野外幻灯展」がふれあい会館前で開催されました。

オープニングの点灯式で、作家の酒井敦美さんが作成した切り絵に光が灯されると、来場者から大きな歓声が上がりました。その後、らくさぶろうさんによる愛の手紙の朗読が始まり、会場は温かな雰囲気でも包まれました。

今回のイベントには、市内外からたくさんの方が訪れ、不思議な光の芸術を堪能していました。



11月17日(日)

朝日に映る幻想世界

～第20回雲海まつり～

今年で20回目を迎える雲海まつりが、柳沢地区の雲海展望公園で行われました。

この日は天候に恵まれ、きれいで幻想的な雲海が発生している中、公園内では藤縄神楽の披露、おいしい猪鍋や搾りたての牛乳が無料で配布されました。

朝早くにもかかわらず集まった多くの人たちは、朝日に映る雲海の情景を、写真だけではなく心にも刻んでいる様子でした。



12月1日(日)

明るく、楽しく、自分らしく

～第3回大洲楽芸会～

大洲市民会館を無料開放することで、楽しく発表できる場を提供しようと、第3回大洲楽芸会が開催されました。

当日はバンドや和太鼓演奏、ダンスなどが披露され、次々登場してくるパフォーマンスの数々に、集まった観客からは自然と笑みがこぼれていました。

今年は33組総勢184人から応募があり、参加した出演者は、それぞれ日ごろの練習の成果を十分に発揮していました。



11月21日(木)

安全・安心、おいしいよ

～大洲産シイタケの普及・PR活動～

大洲産シイタケの消費拡大・販売価格の向上を目指し、愛媛たいき農協椎茸部会・原木55会主催のイベントが、たいき産直市「愛たい菜」で開催されました。

会場では、シイタケと肱川の恵みがたっぷり入った肱川鍋の無料配布や、椎茸部会女性部によるシイタケ料理の試食会など、関係者は積極的にPRしました。

市内のシイタケ生産量は県内1位を誇り、その品質は全国でも高い評価を受けています。